## 計算生命科学の基礎II

## 1.4 到来する大規模生命情報の解析に備えて

土井淳

atsushi\_doi@cell-innovator.com

株式会社セルイノベーター 研究開発部

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1

九州大学 ウェストウィング8階 806 システム生命科学府 遺伝子制御学分野内

http://www.cell-innovator.com

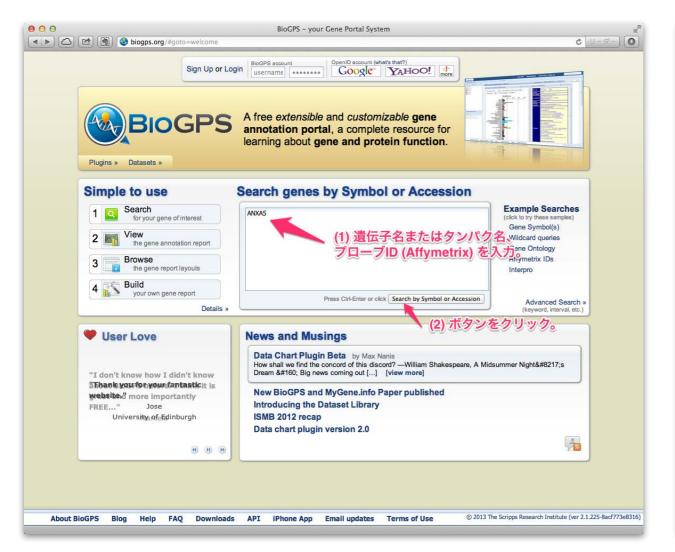
## お伝えしたいこと

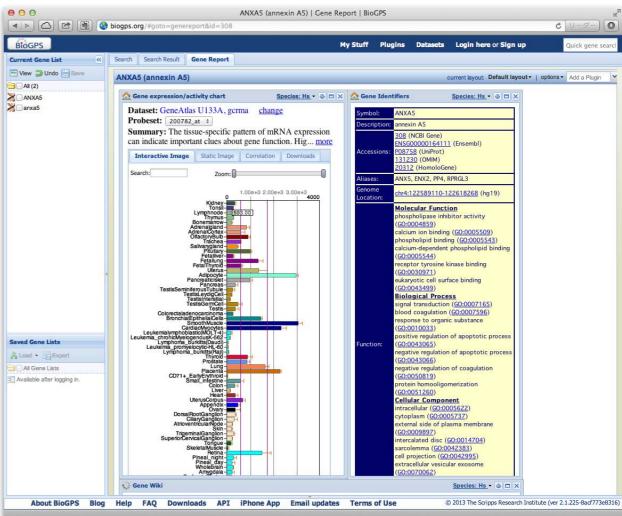
- ・公開データの利用方法
  - BioGPS
  - Connectivity Map
  - The Cancer Genome Atlas (TCGA); cBioPortal
- データを表示する方法と、その見方
  - ヒートマップとクラスタリング
  - 機能解析 (GO解析、DAVID, GSEA)
  - パスウェイ解析
  - ネットワーク解析(WCGNA)

## 公開されている大量の遺伝子発現データ

- BioGPS
  - http://biogps.org/
  - ある遺伝子は、どの組織で発現しているか?
- GEO
  - http://www.ncbi.nlm.nih.gov/geo/
  - マイクロアレイ、NGSのデータの公開データベース
- Connectivity Map
  - https://www.broadinstitute.org/cmap/
  - 薬剤を加えた時に変動する遺伝子はどれか?
- The Cancer Genome Atlas
  - http://cancergenome.nih.gov
  - ・ がんに関するデータのデータベース (mRNA, SNP, CNV, etc.)

#### **BioGPS**



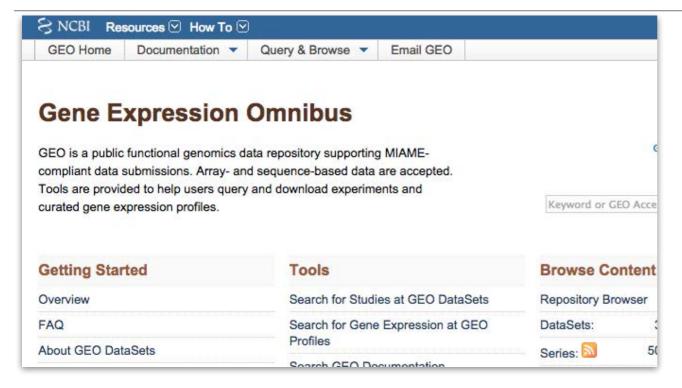


・ 遺伝子名で検索すると、対象の遺伝子について、複数の組織や細胞における 発現レベルが棒グラフで表示される。

## BioGPS の特徴

- ・対象生物種は、ヒト、マウス、ラット、ブタ。
- 逆引きはできない。
  - 肝臓で発現している遺伝子を全てを取得したい。
  - 膵臓だけで得意的に発現している遺伝子はあるのか?
- GEO から、BioGPS で使用しているデータはダウンロードできる。
  - ・ヒト (GSE1133)、マウス (GSE10246) など。
  - ヒートマップを書けば、上記のような遺伝子も一目瞭然。

## 参考: Gene Expression Omnibus (GEO)



- http://www.ncbi.nlm.nih.gov/geo/
- ・NCBIのデータベースで、論文で使用されたマイクロアレイやシーケンスのデータが登録され、公開されている。

S NCBI

Status

Organism

Overall design

Contributor(s)

Citation missing

Submission date Dec 23, 2013

NCBI > GEO > Accession Display 2

differentiation state of keratinocytes in the skin.

Gene expression signatures of 293T cell lines transfected with mutant TRPV3

We identified a number of affected pathways through transcriptome analysis on the skin biopsy samples of the FPPK patients. Our findings suggest that TRPV3 dysfunction may increase apoptotic activity, inhibit keratinocyte differentiation and disturb the intricate balance between proliferation and

To understand the effect of TRPV3 mutation, transcriptome of 293T cell lines transfected with mutant TRPV3 were profiled in time-course manner (16, 24

Has this study been published? Please login to update or notify GEO.

Public on Dec 24, 2013

Experiment type Expression profiling by array

He Y, Wang K

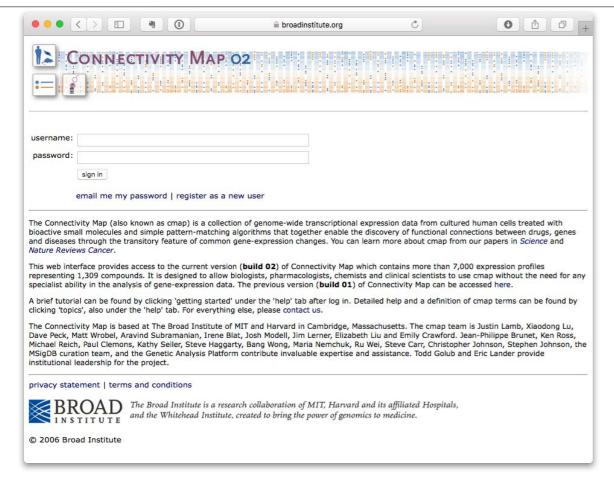
- 近年の論文では、投稿時に登録を求められることも多い。
- ・同様のデータベースとして、ほかに Array Express がある。

MIAME Email GEO

Query DataSets for GSE53614

Not logged in | Login 2

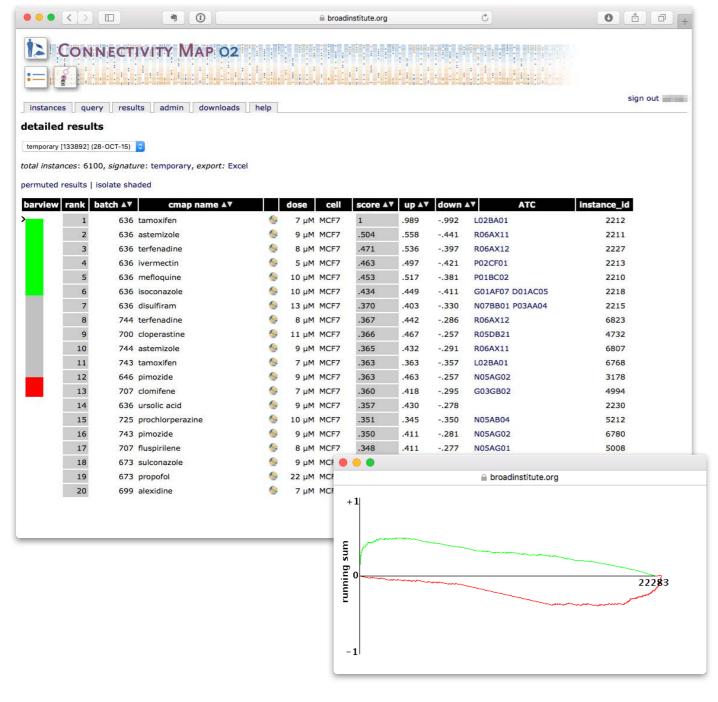
## Connectivity Map





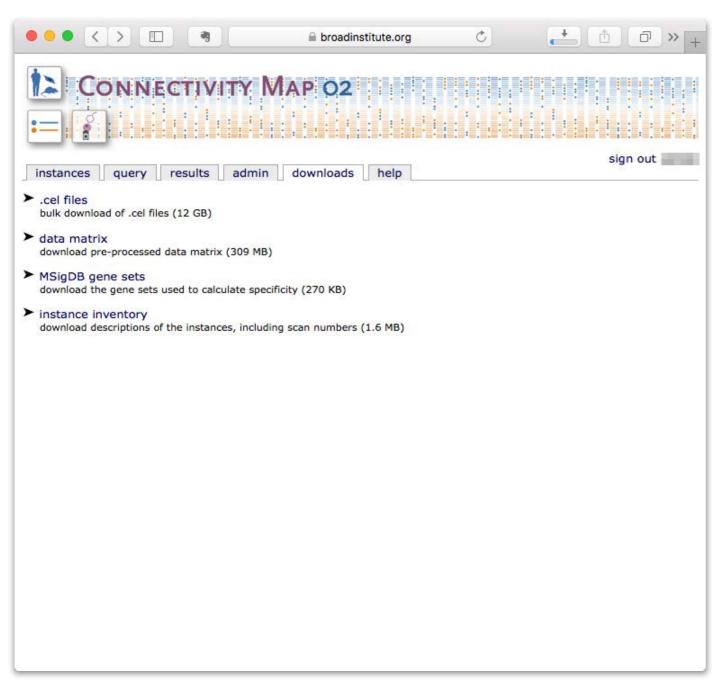
- ・メールアドレスを登録して利用。
- up と down に分けて入力するのがポイント。
- 入力は、ProbeSetID (Affymetrix GeneChip Human Genome U133A Array) の みを受け付ける。(他のアレイの場合、 BioMartなどで変換しておく)。

## どの薬剤と似ているか?



- results から details を確認すると、変動している遺伝子が似ている薬剤が表示される。
- ランク(全体のうち何番目に上がっていたか、下がっていたか)を用いて評価する。(fold-change そのものではない。)

## データの取得方法

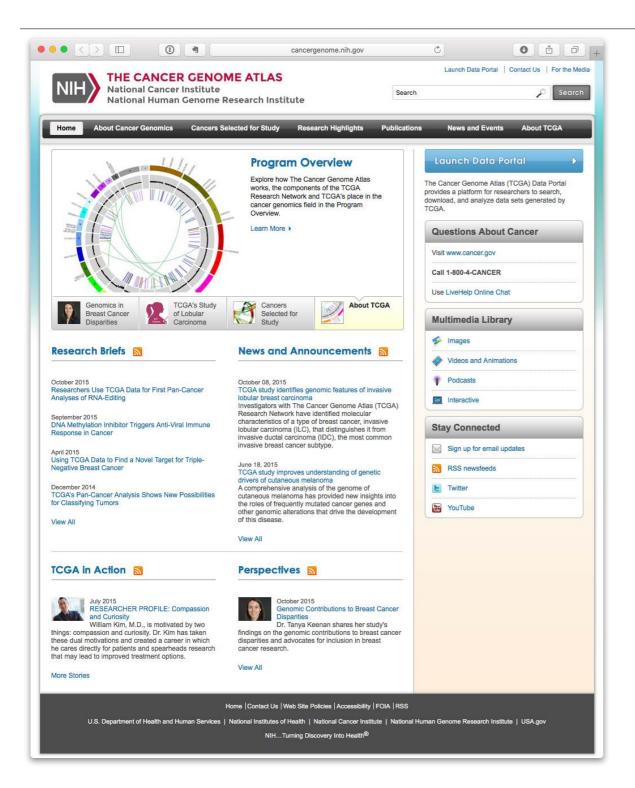


- 直接、CELファイル(何も処理 していないデータ)をダウンロー ド可能。
- 処理済みの data matrix は、ラ ンク形式のデータ。
- 6100インスタンス (=サンプ ル)。

## 備考:Connectivity Map のデータ

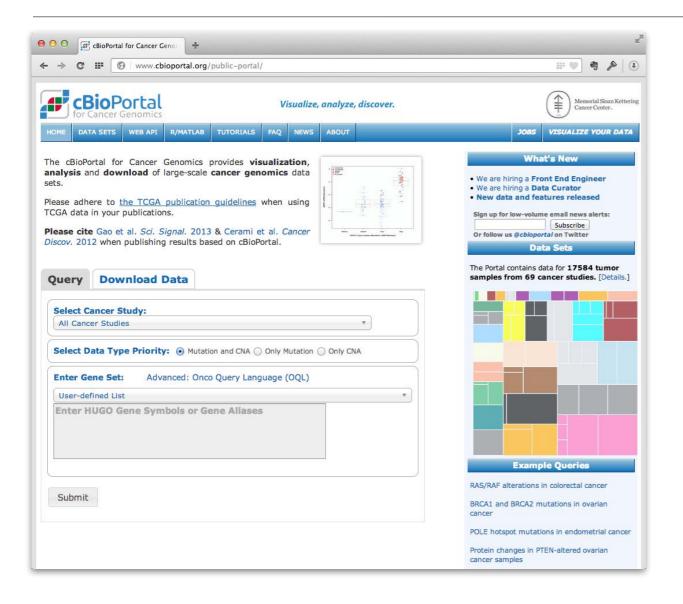
- 数は多い。
- ・ 使用しているマイクロアレイは古い。
  - ・ 搭載された遺伝子数が少ない。
  - ・よく使われたプラットフォームのため、比較対象が多いのは利点。
- ・1つの薬剤につき、濃度の異なる複数のデータがある。
  - ・薬剤は、1300種類。
  - ・使用されている細胞は限定的(HL60, MCF7, PC3, SKMEL5, ssMCF7)。
- ・後述の TCGA のデータが比較的新しく、様々な癌の種類があるので、組み合わせて利用すると良いかもしれない。

## The Cancer Genome Atlas (TCGA)



- クリニカル情報も含め、がんの研究 データが公開されている。(\*データによっては、公開時期などの制限 がある。)
- 制限なく公開されている mRNA, SNP,
   CNV などのデータは、後述の
   cBioPortal から閲覧すると簡単。
- がんの種類(Acute Myeloid
   Leukemia [LAML], Adrenocortical carcinoma [ACC], Bladder Urothelial Carcinoma [BLCA], Brain Lower Grade Glioma [LGG] など、34種類)

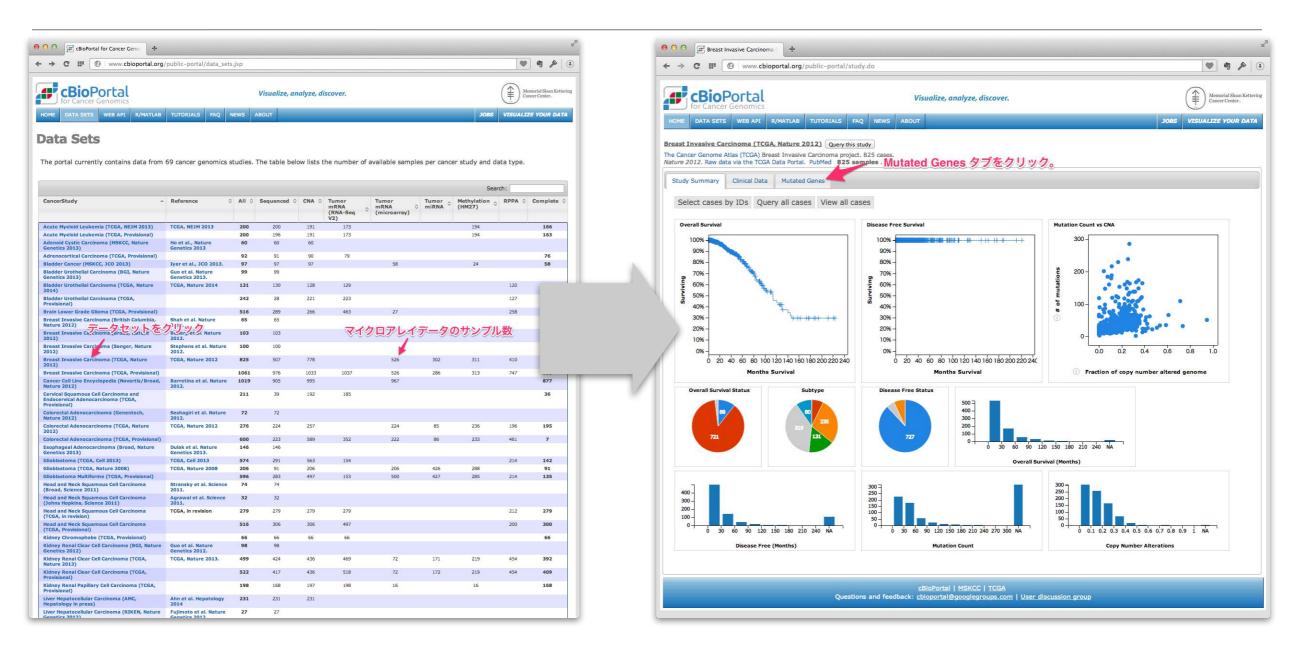
## cBioPortal 経由で TCGA のデータを閲覧





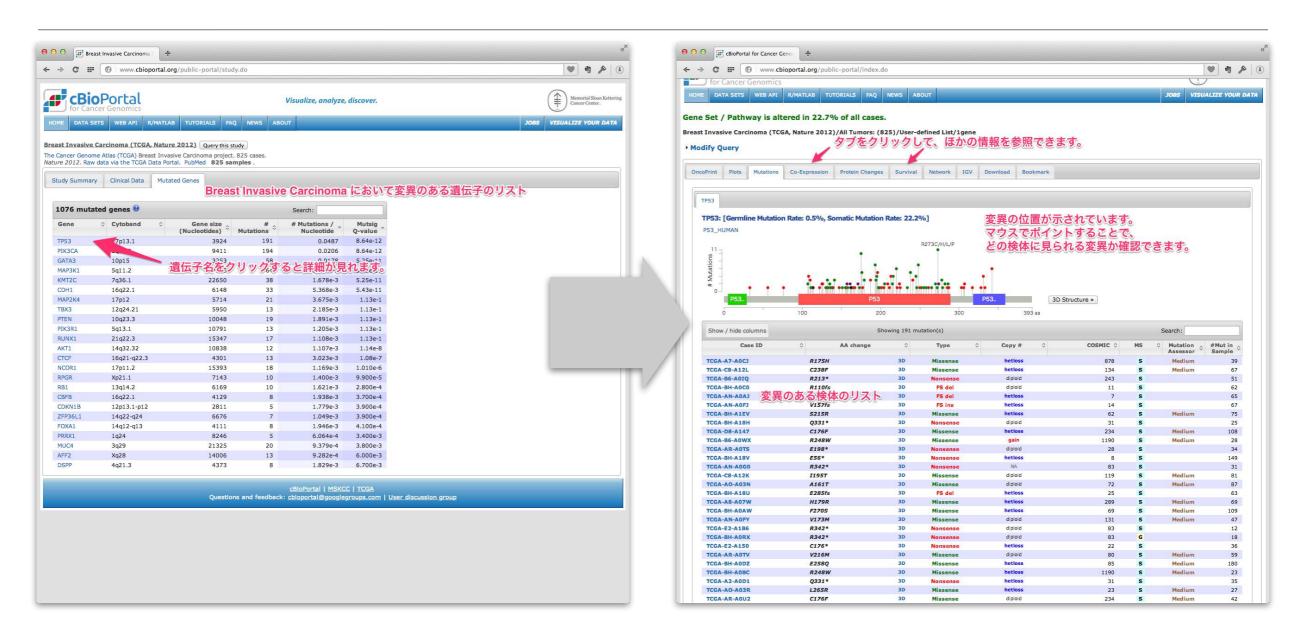
- http://www.cbioportal.org
- ・データをダウンロードせずに、その場で表示して確認もできる。

## cBioPortal: 変異のある遺伝子を表示する (1)



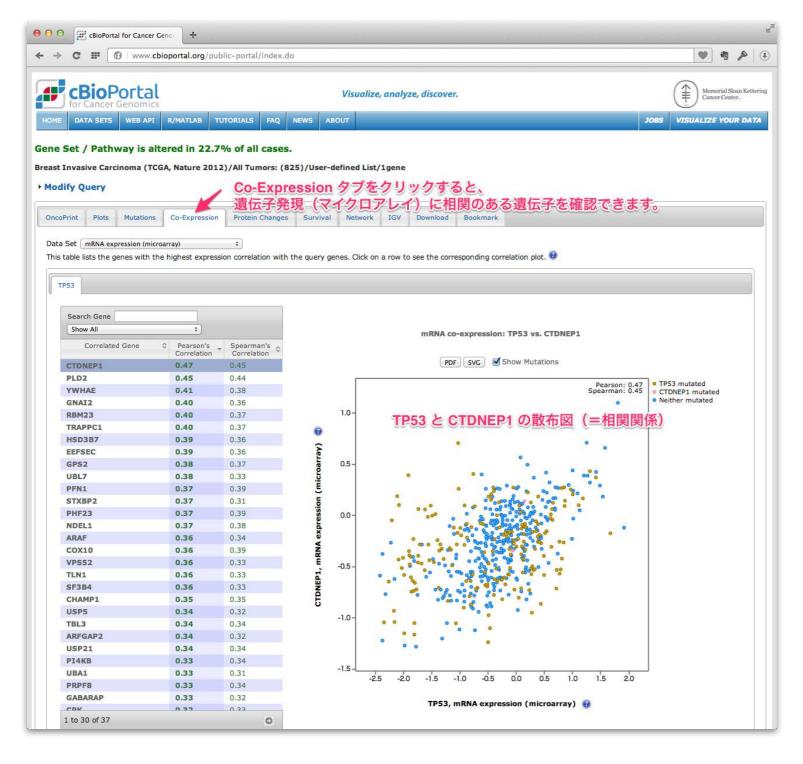
- データセットをクリックすると、サマリーが表示される。
- サマリーから、 Mutated Genes のタブを選択する。

## cBioPortal: 変異のある遺伝子を表示する (2)



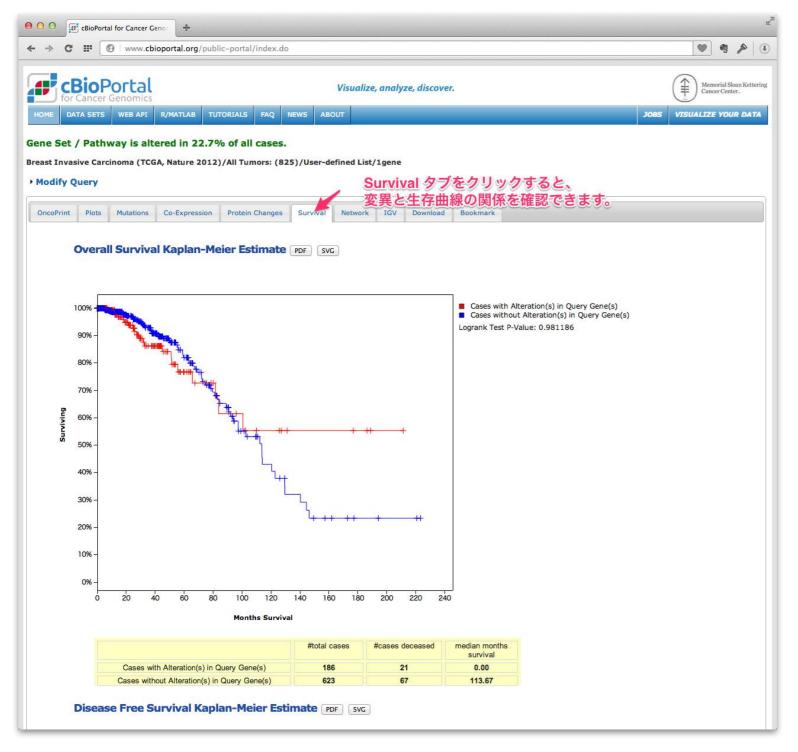
- ・変異のある遺伝子の一覧が表示される。
- ・ 遺伝子名をクリックすると、変異のポイントなどの詳細が表示される。

## cBioPortal: Co-Expression の表示



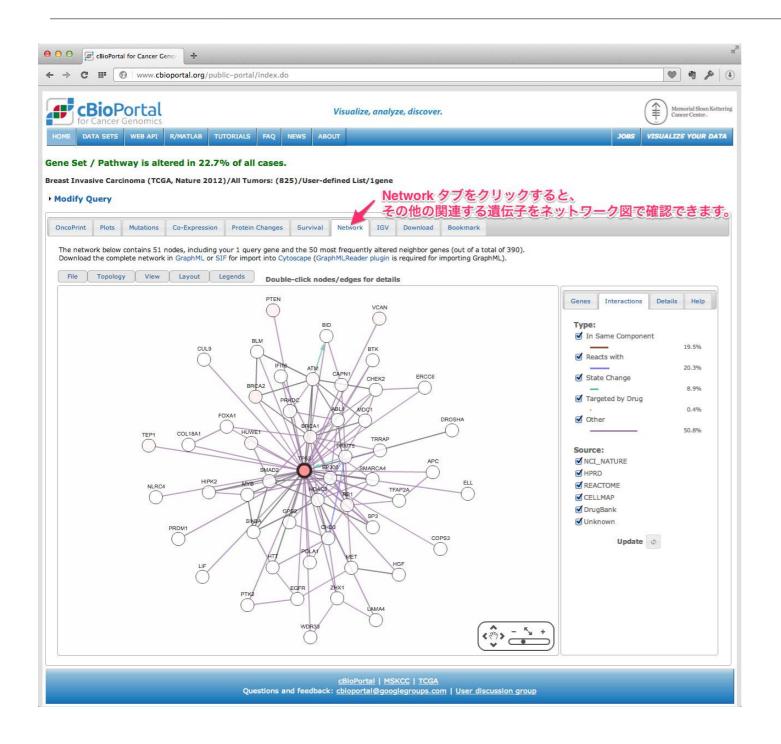
- Co-Expression のタブをク リックすると、共に発現し ている遺伝子(共発現遺伝 子)の関係を表示できる。
- 相関関係があれば、散布図 の表示が、左下から右上(ま たは、左上から右下に)点 が集まって見える。

## cBioPortal: 生存曲線の表示



- Survival のタブをクリックすると、変異と生存曲線の関係を確認できる。
- 遺伝子群を指定して、データ セットを表示していれば、 指定された遺伝子群につい て生存曲線を確認できる。

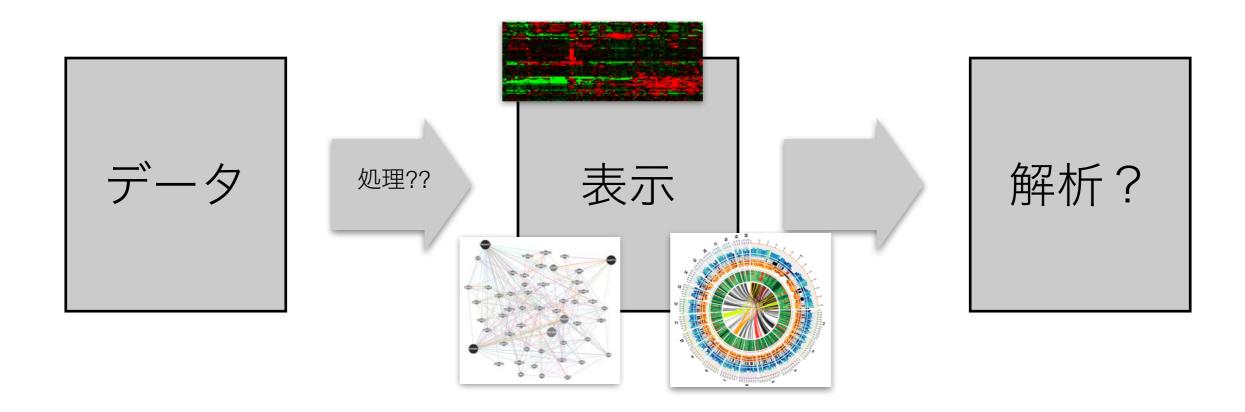
## cBioPortal: ネットワークの表示



- Network のタブをクリック すると、選択した遺伝子に 関連した遺伝子がネットワー クで表示される。
- 関係性の情報は、
   NCI\_Nature (Pathway Intraction Database), HPRD, REACTOME, DrugBank などのデータベースの情報が使用される。

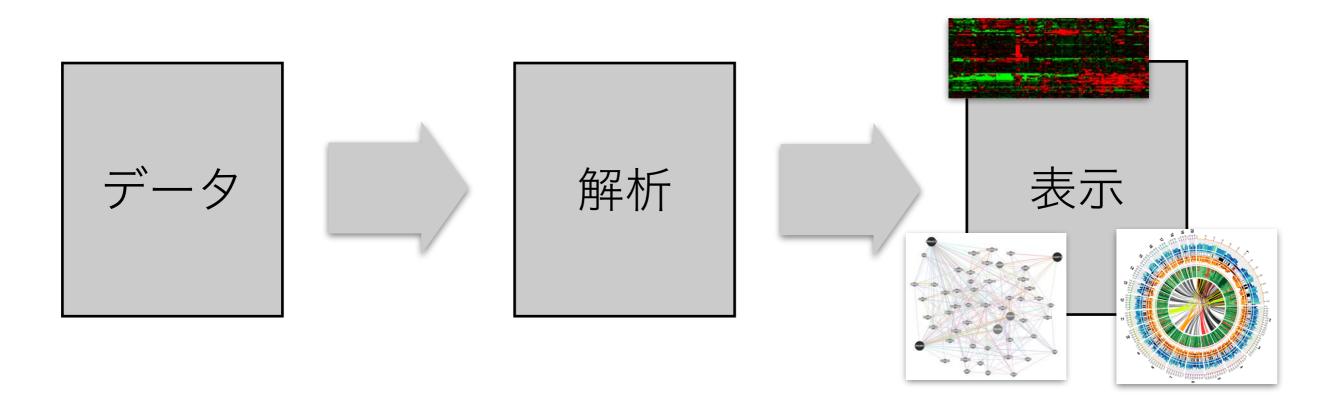
データを表示する方法と、その見方

## データを表示して解析というパラダイム



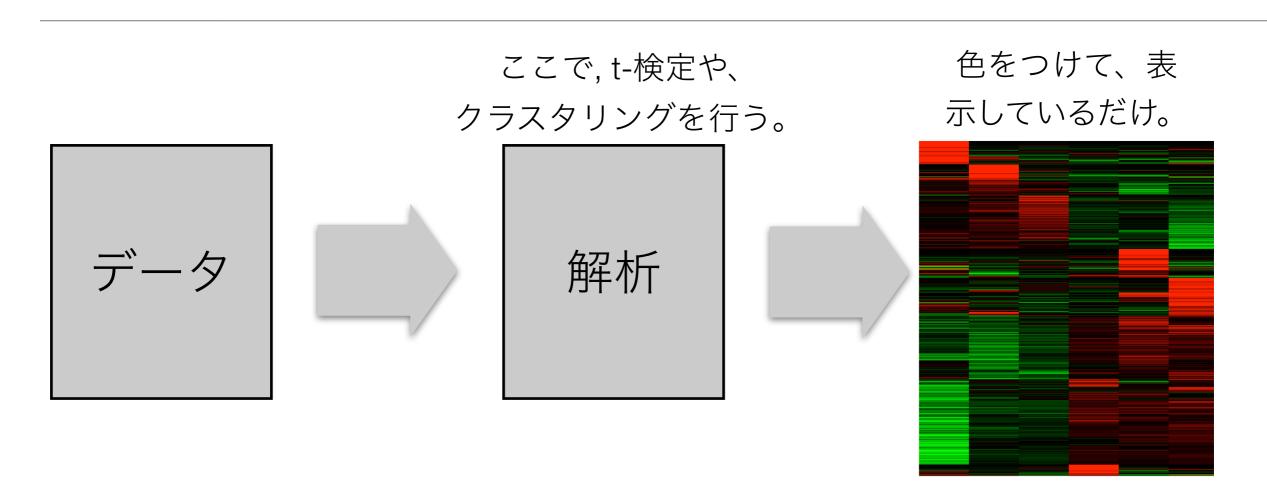
- 念のため、のお話。
- データをプログラムで処理して、表示してから、解析、と思っていませんか?

## データを解析して表示というパラダイム



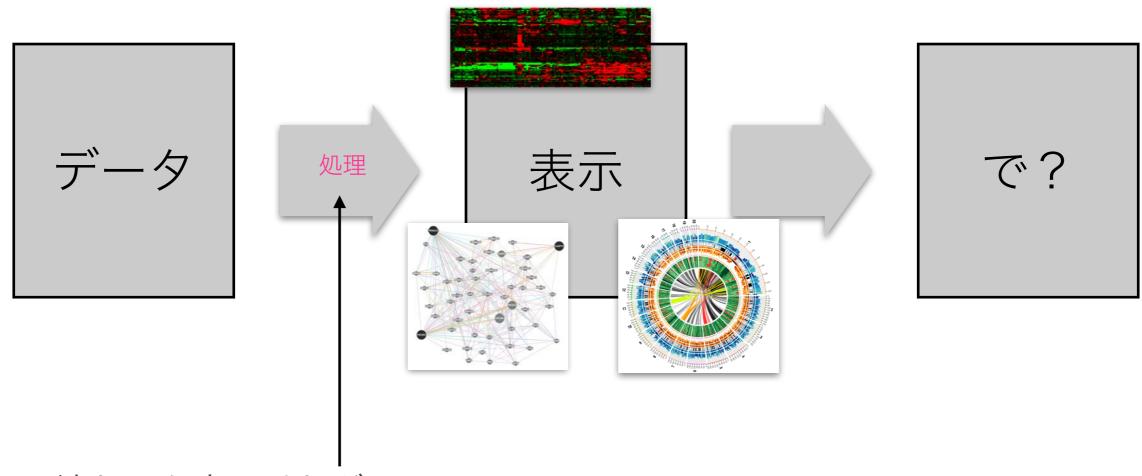
- ・多くの場合、ヒートマップ、ネットワーク、環状ダイアグラム (circos, chord diagram) などは、解析した後、結果を表示している。
- (もちろん、その先に、さらに解析が続く場合もあるが。)

## 例えば、ヒートマップ



- ・ハッキリ分かれたヒートマップでは、検定した結果、有意差のある遺伝子だけ を取り出して書いている場合に注意。(良い悪いという話ではなく。。。)
- ヒートマップを書いてから、分かれている部分(クラスター)を探しているわけではない。

## データを表示して解析というパラダイム

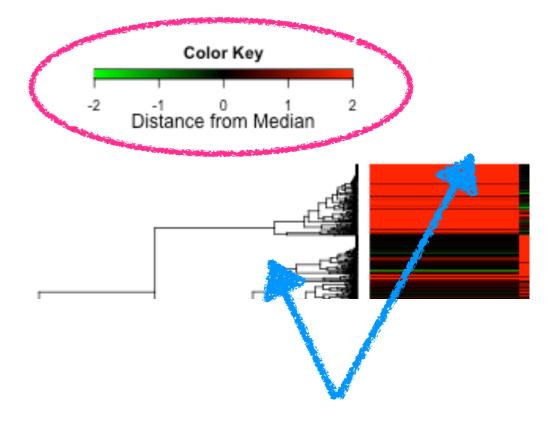


- この流れでも良いけれど。。。
- 「処理の部分で何をしているか」「何を表示しているか」を理解しないと、 表示を解釈する時に誤解を招く。

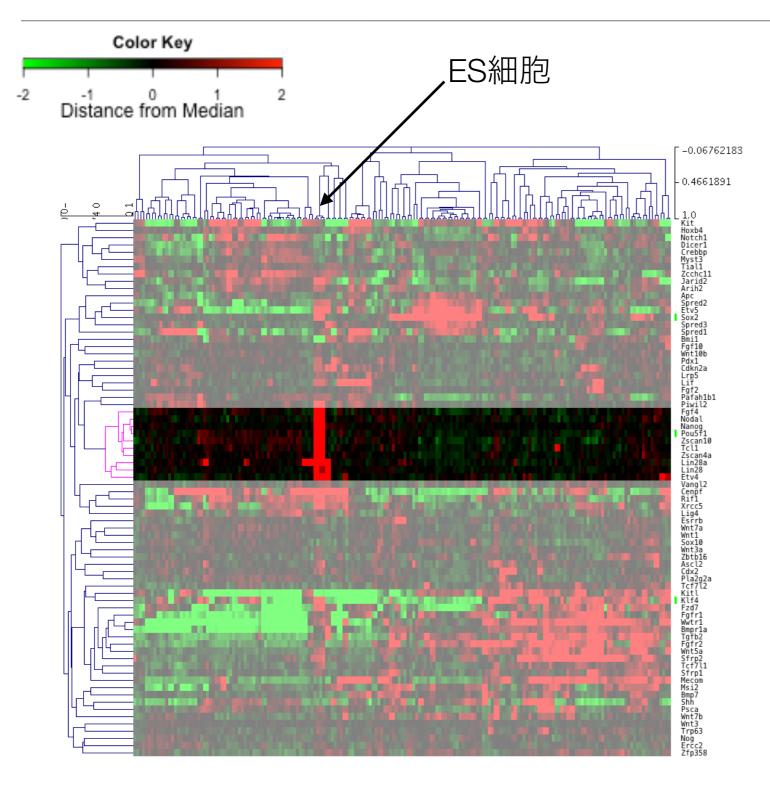
#### ヒートマップ(クラスタリング図)を見るときのポイント

- 「カラーキー(スケール)」=「何を、何 色にしているか」を確認。
  - 真ん中の色は?
  - ・中央値=黒であれば、黒は発現していないという意味でない。
- 対象データは?
  - 一部の遺伝子だけ抽出していないか?
- クラスタリングしてある?
  - クラスタリング=ツリーの表示の有無。
  - ・時系列データの場合は、時間で並んでいることも。

\*どれをどの濃さにするかは任意!



#### stem cell 関連遺伝子のヒートマップ



- BioGPSより取得したマウスのマイクロアレイデータから、stem cell 関連遺伝子を抽出して作成されたヒートマップ。
- 横方向に、ES細胞をはじめ、 liver, heart など 180サンプル並 んでいる。
- ・ \*GOのアノテーションに "stem cell" を含むものと定義。
- 何が読み取れるか?

## 機能解析 (functional analysis): GO, DAVID, GSEA

- 発現している遺伝子、変動している遺伝子の集団があった時、
  - ・「生物学的に見て、どの機能 (biological function) を持った遺伝子が多いのか」を見る手法。
  - ・広い意味で、「機能解析」と呼ばれる。
- 解析のために、様々なアルゴリズムがある。
  - 一番基礎的なものが、「GO解析」
  - データベースを利用したものとして、下記の2つが有名。エンリッチメントアナリシスという言い方もある。
    - The Database for Annotation, Visualization and Integrated Discovery (DAVID)
    - Gene Set Enrichment Analysis (GSEA)

### そもそも GO とは?

- Gene Ontology (ジーンオントロジー)
  - ・もともと、オントロジーとは、用語(ターム)を構造化して整理する手法。
  - 遺伝子用のオントロジーなので、 Gene Ontology (GO)。
- ・簡単にいうと、構造化された用語集。
- ・その用語集を、遺伝子ごとに割りあてる作業がアノテーションの1種。
- ・ 例えば、Myc 遺伝子の持つGOは、
  - DNA binding, E-box binding, RNA polymerase II core promoter proximal region sequence-specific DNA binding, core promoter proximal region sequence-specific DNA binding, double-stranded DNA binding, protein binding, protein complex binding, protein dimerization activity, protein heterodimerization activity, etc.

## 構造化されているとは?

- GO:0005575 cellular\_component [445431 gene products]
  - GO:0005623 cell [277375 gene products]
  - GO:0044464 cell part [277326 gene products]
    - GO:0005622 intracellular [249494 gene products]
      - GO:0044424 intracellular part [235566 gene products]
      - GO:0043226 organelle [192890 gene products]
        - GO:0043229 intracellular organelle [192707 gene products]
        - GO:0043227 membrane-bounded organelle [163999 gene products]
        - GO:0043231 intracellular membrane-bounded organelle [163826 gene products]
        - ▼ GO:0005634 nucleus [75407 gene products]
          - GO:0000794 condensed nuclear chromosome [1031 gene products]
          - GO:0000780 condensed nuclear chromosome, centromeric region [382 gene products]
          - GO:0048555 generative cell nucleus [1 gene products]
          - GO:0043073 germ cell nucleus [160 gene products]
          - GO:0071686 horsetail nucleus [1 gene products]
          - GO:0031039 macronucleus [1 gene products]
          - GO:0043076 megasporocyte nucleus [6 gene products]
          - GO:0031040 micronucleus [0 gene products]
          - GO:0048556 microsporocyte nucleus [0 gene products]
          - © GO:0031618 nuclear centromeric heterochromatin [22 gene products]
          - GO:0000790 nuclear chromatin [1908 gene products]
        - GO:0000228 nuclear chromosome [3974 gene products]
        - GO:0000784 nuclear chromosome, telomeric region [296 gene products]
        - CO-0000798 nuclear cohesin complex [32 gene products]

- ・細胞の中に、細胞膜と細胞質があって、細胞質の中に核があって、、、
- 細胞内における機能に関する用語も 階層化されている。
- ただし、「親は複数あってもよい」 という特殊な階層関係にある。 (DAG)
- GO コンソーシアムで決定される。
- http://geneontology.org

## GO解析

- ・変動した遺伝子の中に、
  - 転写因子はどれくらい含まれるのか?
  - 膜タンパク質が多いのか、少ないのか?
  - アポトーシスに影響があるのかどうか?
- ・GO解析とは、変動した遺伝子のアノテーションを集計して、どのタームが何個あるか、何割くらいかなどを調べること。
  - ・ 実際には単純な数や割合で評価することはできない。
  - アノテーションに "kinase" を持つものは、もともとたくさんあるので、ある一定の割合で見つからないと、偶然でないとは言えない。-> 検定

## GOの問題点

- ・そもそも、GO解析のためにアノテーションを設計しているわけではないので、用語に気をつける必要がある。
  - apoptosis ではなく、GO では、apoptotic process ("apoptosis"で検索 しても見つからない。)
  - 転写関連なら何でもという場合は、GO:0001071 nucleic acid binding transcription factor activity より GO:0006351 transcription, DNAtemplated に多くの遺伝子が存在。
- 決められた用語しかない。
  - ・アノテーションから、転移に関連した遺伝子を調べたくても、 "metastasis"というタームはない。

## GO解析の注意点

- 検定の結果、「inflammatory response を持つ遺伝子が有意であった」=「炎症が亢進ではない」
- GO の inflammatory response には、negative regulation と positive regulation の両方が含まれている。
- 遺伝子によっては、negative,positive 両方のアノテーションが付いていることもある。

```
■ all: all [25485 gene products]

    ⊞ GO:0006950 : response to stress [2213 gene products]

☐ GO:0006954: inflammatory response 403 gene products] 
☐ 
               GO:0002526 : acute inflammatory response [102 gene products]

■ GO:0002437: inflammatory response to antigenic stimulus [44 gene products]

■ GO:0002269: leukocyte activation involved in inflammatory response [0 gene products]

⊕ GO:0002523: leukocyte migration involved in inflammatory response [9 gene products]

    ⊕ GO:0050728: negative regulation of inflammatory response [73 gene products]

    ⊕ GO:0002532: production of molecular mediator involved in inflammatory response [30 gene products]

■ GO:0050727: regulation of inflammatory response [186 cene products]

           ■ negative と positive 2つの regulation か含まれる。products
       ☐ GO:0006954: inflammatory response [403 gene products] =

■ GO:0002437: inflammatory response to antigenic stimulus [44 gene products]

           GO:0002269 : leukocyte activation involved in inflammatory response [0 gene products]

⊕ GO:0002523: leukocyte migration involved in inflammatory response [9 gene products]

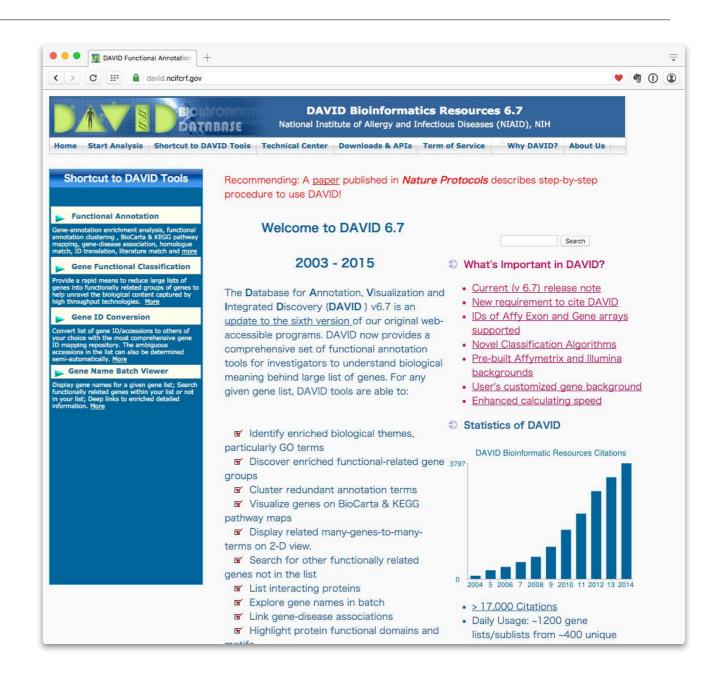
    ⊕ GO:0050728: negative regulation of inflammatory response [73 gene products]

    ⊕ GO:0050729: positive regulation of inflammatory response [67 gene products]

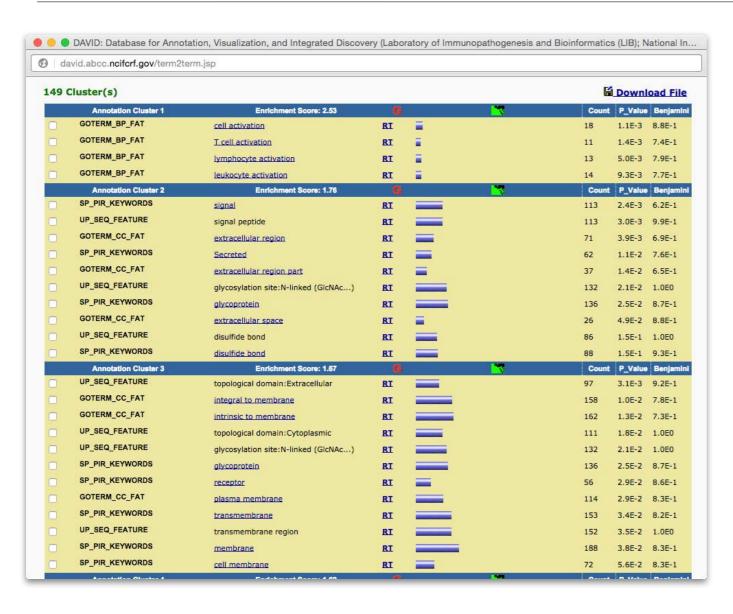
           ⊕ GO:0002532 : production of molecular mediator involved in inflammatory response [30 gene products]
           GO:0002246 : wound healing involved in inflammatory response [5 gene products]
AmiGO version: 1.8
```

# The Database for Annotation, Visualization and Integrated Discovery (**DAVID**)

- アノテーションのデータベースで ある DAVID を使うと、GO解析は 簡単に行える。
- 使い方は、変動していた遺伝子の リスト(遺伝子名またはID)を アップロードするだけ。
- https://david.ncifcrf.gov

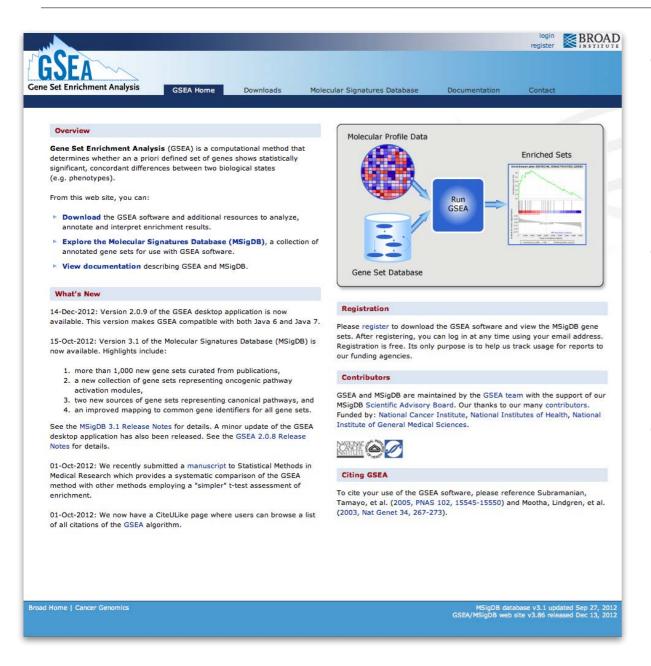


## DAVIDの解析結果



- 1つ1つのGOタームの p-value に加えて、似ているタームをま とめて、アノテーションクラス ターとして表示。
- アノテーションクラスターごとに Enrichment Score が産出される。(Enrichment Score > 1.3 で有意差あり)
- 遺伝子の名前だけをアップロードするので、増加したか、減少したかは結果に影響しない。

## Gene Set Enrichment Analysis (GSEA)



- GSEA は、DAVID と似ているが、増加 したか、減少したかも考慮した上で Enrichment Score を算出。
- 背景に MSigDB というデータベースが あり、「遺伝子セット」という概念が ある。
- http://www.broadinstitute.org/gsea/ index.jsp

## Gene Set (遺伝子セット)

- GO には、定義された用語でないと使えないという制限があった。
  - ・では、誰かの論文で、metastasis が起きた時、変動のあった遺伝子をリストにしておけば?
  - 肝臓癌で発現が増加した遺伝子のリスト
  - EMT で増加(減少)した時の遺伝子のリスト、など。
- ・MSigDB には、キュレーターが選択した論文から拾い出した遺伝子のリストがデータベース化されている。
- それらの「遺伝子リスト」について、検定を行う。
- ・特定のGOのタームに載っている遺伝子も、同様に「遺伝子リスト」として扱うことで、GO解析も可能。

ABBUD\_LIF\_SIGNALING\_2\_DN HOLLEMAN\_PREDNISOLONE\_RESISTANCE\_B\_ PENG\_LEUCINE\_DEPRIVATION\_DN ABBUD\_LIF\_SIGNALING\_2\_UP PENG LEUCINE DEPRIVATION UP ABDELMOHSEN\_ELAVL4\_TARGETS HOLLEMAN PREDNISOLONE RESISTANCE B PENG\_RAPAMYCIN\_RESPONSE\_DN ABDULRAHMAN KIDNEY CANCER VHL DN PENG\_RAPAMYCIN\_RESPONSE\_UP ALL UP ABDULRAHMAN KIDNEY CANCER VHL UP HOLLEMAN VINCRISTINE RESISTANCE ALL PEPPER CHRONIC LYMPHOCYTIC LEUKEMIA ABE\_INNER\_EAR ABE VEGFA TARGETS HOLLEMAN VINCRISTINE RESISTANCE ALL PEPPER CHRONIC LYMPHOCYTIC LEUKEMIA ABE\_VEGFA\_TARGETS\_2HR ABE\_VEGFA\_TARGETS\_30MIN HOLLEMAN\_VINCRISTINE\_RESISTANCE\_B\_A PEREZ\_TP53\_AND\_TP63\_TARGETS ABRAHAM\_ALPC\_VS\_MULTIPLE\_MYELOMA\_DN PEREZ\_TP53\_TARGETS ABRAHAM\_ALPC\_VS\_MULTIPLE\_MYELOMA\_UP HOLLEMAN\_VINCRISTINE\_RESISTANCE\_B\_A PEREZ\_TP63\_TARGETS ABRAMSON\_INTERACT\_WITH\_AIRE PETRETTO\_BLOOD\_PRESSURE\_DN ACEVEDO\_FGFR1\_TARGETS\_IN\_PROSTATE\_C HOLLMANN\_APOPTOSIS\_VIA\_CD40\_DN PETRETTO\_BLOOD\_PRESSURE\_UP ANCER\_MODEL\_DN HOLLMANN APOPTOSIS VIA CD40 UP PETRETTO CARDIAC HYPERTROPHY ACEVEDO FGFR1 TARGETS IN PROSTATE C HONMA DOCETAXEL RESISTANCE PETRETTO HEART MASS OTL CIS DN HONRADO\_BREAST\_CANCER\_BRCA1\_VS\_BRCA ANCER MODEL UP PETRETTO HEART MASS OTL CIS UP ACEVEDO LIVER CANCER DN PETRETTO LEFT VENTRICLE MASS OTL CI HOOI ST7 TARGETS DN ACEVEDO LIVER CANCER UP ACEVEDO\_LIVER\_CANCER\_WITH\_H3K27ME3\_ HOOI\_ST7\_TARGETS\_UP PETRETTO LEFT VENTRICLE MASS OTL CI HOQUE\_METHYLATED\_IN\_CANCER ACEVEDO\_LIVER\_CANCER\_WITH\_H3K27ME3\_ HORIUCHI\_WTAP\_TARGETS\_DN PETROVA\_ENDOTHELIUM\_LYMPHATIC\_VS\_BL HORIUCHI\_WTAP\_TARGETS\_UP ACEVEDO\_LIVER\_CANCER\_WITH\_H3K9ME3\_D HORTON\_SREBF\_TARGETS PETROVA\_ENDOTHELIUM\_LYMPHATIC\_VS\_BL HOSHIDA\_LIVER\_CANCER\_LATE\_RECURRENC OOD\_UP ACEVEDO\_LIVER\_CANCER\_WITH\_H3K9ME3\_U E\_DN PETROVA\_PROX1\_TARGETS\_DN HOSHIDA\_LIVER\_CANCER\_LATE\_RECURRENC PETROVA PROX1 TARGETS UP ACEVEDO\_LIVER\_TUMOR\_VS\_NORMAL\_ADJAC\_E\_UP PHESSE\_TARGETS\_OF\_APC\_AND\_MBD2\_DN ENT TISSUE DN HOSHIDA LIVER CANCER SUBCLASS S1 PHESSE\_TARGETS\_OF\_APC\_AND\_MBD2\_UP ACEVEDO\_LIVER\_TUMOR\_VS\_NORMAL\_ADJAC HOSHIDA\_LIVER\_CANCER\_SUBCLASS\_S2 PHONG THE RESPONSE NOT VIA P38 ENT TISSUE UP HOSHIDA LIVER CANCER SUBCLASS S3 PHONG THE RESPONSE VIA P38 COMPLETE ACEVEDO METHYLATED IN LIVER CANCER HOSHIDA LIVER CANCER SURVIVAL DN PHONG THE RESPONSE VIA P38 PARTIAL HOSHIDA\_LIVER\_CANCER\_SURVIVAL\_UP PHONG\_TNF\_TARGETS\_DN ACEVEDO\_NORMAL\_TISSUE\_ADJACENT\_TO\_L PHONG THE TARGETS UP PICCALUGA\_ANGIOIMMUNOBLASTIC\_LYMPHO IVER TUMOR DN HOWLIN\_CITED1\_TARGETS\_1\_DN ACEVEDO\_NORMAL\_TISSUE\_ADJACENT\_TO\_L HOWLIN\_CITED1\_TARGETS\_1\_UP IVER\_TUMOR\_UP HOWLIN\_CITED1\_TARGETS\_2\_DN PICCALUGA\_ANGIOIMMUNOBLASTIC\_LYMPHO ACOSTA\_PROLIFERATION\_INDEPENDENT\_MY HOWLIN\_CITED1\_TARGETS\_2\_UP MA\_UP C TARGETS DN HOWLIN\_PUBERTAL\_MAMMARY\_GLAND PIEPOLI LGI1 TARGETS DN ACOSTA\_PROLIFERATION\_INDEPENDENT\_MY HSIAO\_HOUSEKEEPING\_GENES PIEPOLI LGI1 TARGETS UP PILON\_KLF1\_TARGETS\_DN C TARGETS UP HSIAO LIVER SPECIFIC GENES ADDYA\_ERYTHROID\_DIFFERENTIATION BY HU ANGIOGENESIS DN PILON KLF1 TARGETS UP PIONTEK PKD1 TARGETS DN HU ANGIOGENESIS UP AFFAR\_YY1\_TARGETS\_DN HU\_GENOTOXIC\_DAMAGE\_24HR PIONTEK\_PKD1\_TARGETS\_UP AFFAR YY1 TARGETS UP HU GENOTOXIC DAMAGE 4HR PLASARI NFIC TARGETS BASAL DN AGARWAL AKT PATHWAY TARGETS HU\_GENOTOXIN\_ACTION\_DIRECT\_VS\_INDIR PLASARI NFIC TARGETS BASAL UP AGUIRRE PANCREATIC CANCER COPY NUMB PLASARI\_TGFB1\_SIGNALING\_VIA\_NFIC\_10 HU\_GENOTOXIN\_ACTION\_DIRECT\_VS\_INDIR AGUIRRE\_PANCREATIC\_CANCER\_COPY\_NUMB PLASARI\_TGFB1\_SIGNALING\_VIA\_NFIC\_10 ER UP HUANG\_DASATINIB\_RESISTANCE\_DN HR UP PLASARI\_TGFB1\_SIGNALING\_VIA\_NFIC\_1H AIGNER ZEB1 TARGETS HUANG\_DASATINIB\_RESISTANCE\_UP AIYAR COBRA1 TARGETS DN HUANG\_FOXA2\_TARGETS\_DN AIYAR COBRA1 TARGETS UP HUANG\_FOXA2\_TARGETS\_UP PLASARI\_TGFB1\_SIGNALING\_VIA\_NFIC\_1H AKL\_HTLV1\_INFECTION\_DN HUANG GATA2 TARGETS DN AKL\_HTLV1\_INFECTION\_UP HUANG GATA2 TARGETS UP PLASARI\_TGFB1\_TARGETS\_10HR\_DN ALCALA APOPTOSIS HUI MAPK14 TARGETS UP PLASARI TGFB1 TARGETS 10HR UP ALCALAY\_AML\_BY\_NPM1\_LOCALIZATION\_DN HUMMEL\_BURKITTS\_LYMPHOMA\_DN PLASARI\_TGFB1\_TARGETS\_1HR\_DN ALCALAY\_AML\_BY\_NPM1\_LOCALIZATION\_UP HUMMEL\_BURKITTS\_LYMPHOMA\_UP PLASARI\_TGFB1\_TARGETS\_1HR\_UP ALFANO MYC TARGETS HUMMERICH BENIGN SKIN TUMOR DN PODAR\_RESPONSE\_TO\_ADAPHOSTIN\_DN ALONSO\_METASTASIS\_DN HUMMERICH\_BENIGN\_SKIN\_TUMOR\_UP PODAR\_RESPONSE\_TO\_ADAPHOSTIN\_UP ALONSO\_METASTASIS\_EMT\_DN HUMMERICH\_MALIGNANT\_SKIN\_TUMOR\_DN POMEROY\_MEDULLOBLASTOMA\_DESMOPLASIC ALONSO\_METASTASIS\_EMT\_UP HUMMERICH\_MALIGNANT\_SKIN\_TUMOR\_UP VS\_CLASSIC\_DN ALONSO METASTASIS NEURAL UP HUMMERICH\_SKIN\_CANCER\_PROGRESSION\_D POMEROY\_MEDULLOBLASTOMA\_DESMOPLASIC ALONSO METASTASIS UP VS CLASSIC UP HUMMERICH\_SKIN\_CANCER\_PROGRESSION\_U ALTEMEIER\_RESPONSE\_TO\_LPS\_WITH\_MECH POMEROY MEDULLOBLASTOMA PROGNOSIS D ANICAL VENTUATION

\*MSigDB に登録された 「遺伝子セット」の一部

すべての論文のリストが あるわけではない。分野 によっては偏りがある。

cell innovator

## GSEAの注意点

- Enrichment Score の判定には、ランクを用いる。
- n数が少ないと、シグナル値が低く、 ノイズの可能性もある遺伝子が一律に 扱われる。
- DAVID と違い、up, down を評価する。
  - 論文から取られた遺伝子リストは up, down に意味がある。
  - GO のタームは、 up か down か分 からない。

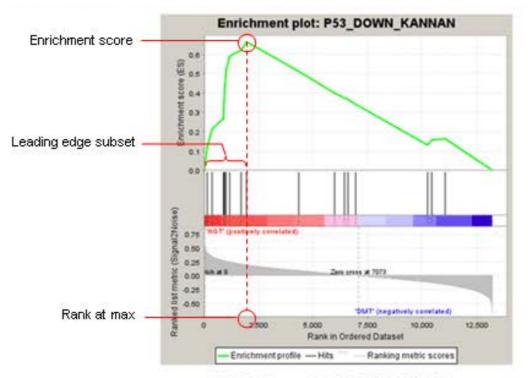
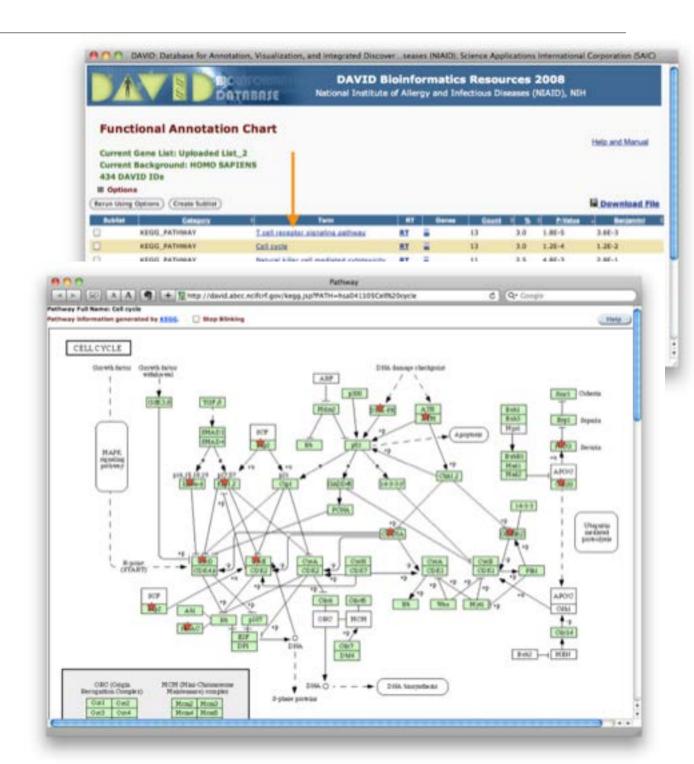


Fig 1: Enrichment plot: P53\_DOWN\_KANNAN
Profile of the Running ES Score & Positions of GeneSet Members on the Rank Ordered List

\*GSEAガイドより

## パスウェイ解析

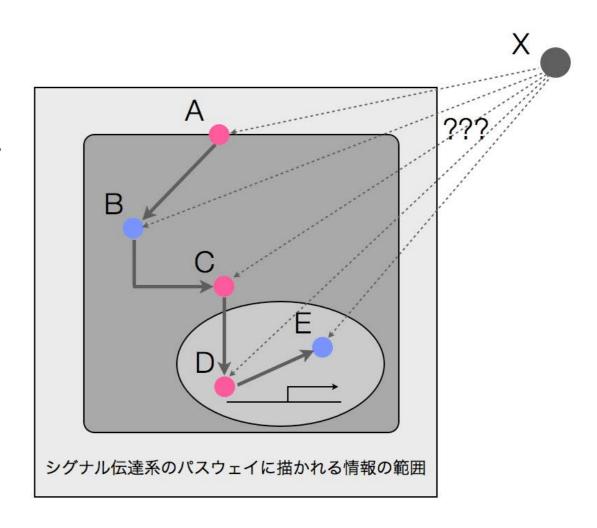
- いわゆるパスウェイ解析は、変動していた遺伝子が、特定のパスウェイに含まれているかどうかを検定。
- ・KEGG に登録されたパスウェイ中に 含まれている遺伝子群を「遺伝子リ スト」と捉え、GO解析の延長で対応 されている。
- DAVID や GSEA でも解析が可能。
- KEGG パスウェイデータベース
   http://www.genome.jp/kegg/pathway.html



## パスウェイ解析の限界

- ・パスウェイ解析も、GO解析と同様の問題がある。
  - 有意になったパスウェイが、活性化されたか、抑制されたかは、厳密には評価できない。
  - GSEA のようにデータを up, down を分けたとしても、パスウェイの遺伝子セットが up, down に分かれていない。

そもそも、パスウェイの外にある遺伝子は 対象外。



## ネットワーク解析の考え方(データドリブン)

- ・パスウェイ解析で、パスウェイが活性化されたかどうか分からない。
  - ・ -> 活性化された遺伝子だけでパスウェイを作成したらどうか?
- ・パスウェイを制御する遺伝子が、パスウェイに載っていない。
  - ->パスウェイに含まれる遺伝子に関係ありそうな遺伝子をデータから探 せないか?
- ・遺伝子発現データ(マイクロアレイやNGSのデータ)から、動きだけから、 ネットワークを動的に作成する。(データドリブン)
  - 相関関係のある遺伝子でネットワークを作成 —> Weighted correlation network analysis (WGCNA) など。

## 解析例: WCGNA, DAVID

Table 1 Weighted gene-coexpression correlation network analyses revealed significantly altered gene modules in c9ALS cerebellum and frontal cortex

Madula sassa	D. relice	Gene	Natable CO tarres	Enrichment
Module name	Pvalue	count	Notable GO terms	P value
c9ALS cerebelle	um			
MEpink	0.0137	148	Neuron development, protein localization, transcription	$3.40 \times 10^{-3}$
MEgray60	0.0350	93	Vesicle transport, protein transport	$1.90 \times 10^{-2}$
MEdarkred	0.0359	68	rRNA processing, lysosome organization, RNA processing	$3.30 \times 10^{-2}$
MEgreen	0.0493	210	Intracellular transport	$1.60 \times 10^{-4}$
MEblue	0.0497	299	Chromatin modification	$4.60 \times 10^{-9}$
c9ALS frontal c	ortex			
MEsalmon	0.0217	43	Response to unfolded protein	$1.40 \times 10^{-8}$
MEturquoise	0.0413	1,678	Protein localization	$8.10 \times 10^{-25}$
MEblack	0.0428	66	Oxidative phosphorylation	$7.50 \times 10^{-8}$
MEgreen	0.0457	98	rRNA processing	$8.20 \times 10^{-3}$

WGCNA modules were done with data from c9ALS cerebellum and frontal cortex (versus sALS and controls; P < 0.05). All significant modules are shown. The most notable GO terms and their enrichment P values are included for each module. Note that MEpink is shown in blue in **Figure 2a**, and MEsalmon is shown in red in **Figure 2b**.

the frontal cortex was enriched in UPR-related genes (Table 1 and Fig. 2b). Of note, genes involved in the UPR pathway were among the top DE genes in both cerebellum and frontal cortex in c9ALS subjects as determined by EdgeR analyses, as mentioned above, and validated by quantitative real-time PCR (qRT-PCR) (Supplementary Fig. 4). In sALS, the top modules identified included genes involved in calcium transport and synaptic transmission in cerebellum and in oxidative phosphorylation in frontal cortex (Supplementary Table 6). These studies revealed marked differences in gene-expression

patterns between c9ALS and sALS subjects, with substantially more changes observed in individuals with c9ALS, especially in the cerebellum.

#### Extensive misregulation of AS in ALS brain

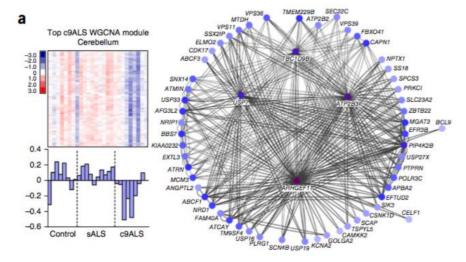
To evaluate AS changes in ALS, we used OLego software<sup>30</sup> to align RNA-Seq reads to the hg19 genome assembly and splice junctions. The total number of AS events (false discovery rate (FDR) < 0.05) was more than three times higher in c9ALS subjects than in sALS subjects in both cerebellum (8,224 in c9ALS versus 2,229 in sALS) and frontal cortex (920 in c9ALS versus 282 in sALS) (Fig. 3a and Supplementary Tables 7 and 8). Also, the number of AS events was

approximately eight to nine times higher in the cerebellum than in the frontal cortex in c9ALS and sALS samples (Fig. 3a). Although 1,172 and 106 of the AS events that occurred in the cerebellum and frontal cortex, respectively, were shared between c9ALS and sALS subjects, they represented a relatively small percentage (~11%-15%) of the total AS changes seen in c9ALS subjects.

Among the different types of AS changes noted in ALS, cassette exon (CE) events were the most common, and intron-retention events represented a significant proportion of total changes (FDR < 0.05; Fig. 3b). A total of 918 intron-retention events occurred in c9ALS cerebellum, whereas 286 were found in c9ALS frontal cortex. In sALS subjects,

there were 378 alternative intron-retention events in the cerebellum but only 7 in the frontal cortex (Fig. 3b and Supplementary Fig. 5). In c9ALS subjects, approximately 12 times more AS CE events (FDR < 0.05) were found in the cerebellum (4,419) than in the frontal cortex (369) (Fig. 3b and Fig. 4a,b). In sALS subjects, there were 949 AS CE events in the cerebellum, more than four times the number of events in the frontal cortex (203) (Fig. 3b and Fig. 4a,b).

The majority of CE events in c9ALS were the result of exon skipping, whereas similar proportions of CE exclusions and inclusions



- Prudencio et al., Nat.
   Neurosci. 2015 Aug;18(8): 1175-82.
- RNA-Seq のデータから、
   ネットワークを作成して、クラスターの機能を DAVID で解析



#### まとめ

- その他のデータの見方について、下記のサイトで解説しています。
- http://array.cell-innovator.com

## 参考URL

- BioGPS <a href="http://biogps.org/">http://biogps.org/</a>
- GEO <a href="http://www.ncbi.nlm.nih.gov/geo/">http://www.ncbi.nlm.nih.gov/geo/</a>
- Connectivity Map <a href="https://www.broadinstitute.org/cmap/">https://www.broadinstitute.org/cmap/</a>
- TCGA <a href="https://www.broadinstitute.org/cmap/">https://www.broadinstitute.org/cmap/</a>
- cBioPortal <a href="http://www.cbioportal.org">http://www.cbioportal.org</a>
- DAVID <a href="https://david.ncifcrf.gov">https://david.ncifcrf.gov</a>
- GSEA <a href="http://www.broadinstitute.org/gsea/index.jsp">http://www.broadinstitute.org/gsea/index.jsp</a>
- KEGG <a href="http://www.genome.jp/kegg/pathway.html">http://www.genome.jp/kegg/pathway.html</a>
- WCGNA http://labs.genetics.ucla.edu/horvath/CoexpressionNetwork/ Rpackages/WGCNA/